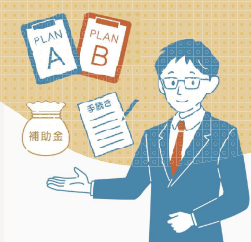


東京都には、 既存賃貸住宅の断熱改修に向けた 支援策があります！



① コンシェルジュ支援

無料

コンシェルジュ

ニーズにあわせて
柔軟に対応！

- ・賃貸物件の管理会社
 - ・改修や診断の事業者
- が担当

費用

無料

費用をかけることなく
専門家のサポートがつくので、
安心してご利用いただけます。

セミナー

断熱改修 × コンシェルジュ
補助金活用セミナーを毎月開催中！

無料

くわしくはサイトへ。

賃貸住宅 東京都 コンシェルジュ



コンシェルジュ支援に申し込むと、住宅の省エネ性能診断の方法や、その結果を踏まえた複数の改修プランの説明、各種補助制度の案内、補助金申請手続の案内や住宅性能に係る制度の説明等を聞くことができます。

② 賃貸住宅補助制度

高い補助率

省エネ性能診断

国の補助金と
併用OK！

最大 120 万円 / 棟 | 補助率 10/10

断熱改修(窓の場合)

最大 30 万円 / 戸 | 補助率 2/3

太陽光発電システム設置

最大 15~30 万円 / kW

この他にもメニューがあります。
くわしくはサイトへ。

賃貸住宅 東京都 断熱 再エネ



「先進的窓ノベ」についてはこちら。



東京都の補助金を利用することで、自己負担額を抑えて断熱改修や再エネ利用を行うことができます。国が推進する「先進的窓ノベ」の補助金とも併用可能です。補助が活用できるタイミングでの改修をおすすめしています。

魔法のような 賃貸住宅の話。

家を断熱性能で選ぶと魔法のようないいことがたくさんあります。
高断熱の壁や窓は、魔法瓶のように家の熱を遮断するので、夏は涼しく、冬は暖かい。
電気代は安くなるし、防音効果も期待できる。
しかも健康にもいいらしい。
魔法のような、ホントの話。続きは、中面へ。



賃貸住宅は、断熱性能で選ばう。

東京都

※現在掲出中のポスターです。

東京都は、2050年ゼロエミッションを目指しています。
賃貸住宅は、“断熱性能”で選ばれる時代です。

なぜ今、賃貸住宅の断熱・再エネ対策が必要なの？

(1)

入居者ニーズの変化



不動産情報サイトでは、ZEH・省エネ文言を含む掲載数が年々増えており、高い断熱性能による健康メリットや、光熱費削減、防犯対策などの価値が重要視されてきています。

(2)

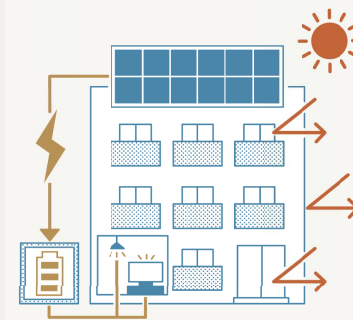
省エネ性能表示制度の開始



住宅の販売・賃貸広告等に「省エネ性能ラベル」が表示されるようになり、入居者の家選び基準が大きく変わりました。

(3)

新築住宅の省エネ基準適合の義務化



新築住宅は省エネ基準適合が義務づけられており、太陽光発電・EV充電設備の設置義務化も進むため、既築の賃貸住宅は今後さらに環境性能による競争力が必要とされます。

住宅の環境性能を高めるにはどうしたらいいの？

断熱性能を高めるため、

高断熱の窓・ドア・壁

等に改修をしたり、

再エネを利用するために、

太陽光発電設備や蓄電池

を設置する方法があります。



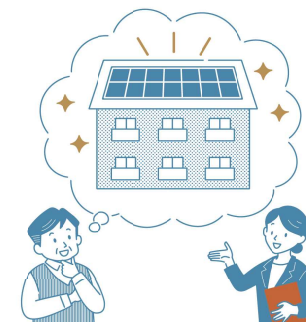
東京都は賃貸住宅の環境性能を高めるために、

断熱改修や太陽光発電設備等の設置に対して、

補助をご用意しています。

さらに、賃貸オーナー様を断熱改修等の前後で伴走支援する

コンシェルジュの無料支援もあります。



※くわしくは裏面へ